

編 集 後 記

「レクリエーション研究」12号は、レクリエーション学会の新しい試みである学会大会号となった。学会大会号という、とかく発表論文の概要だけにとどまりがちであるが、内容のあるボリュームにしたいという理事会の意向に対して、原稿作成にあたり発表者から大変な協力をいただいた。感謝に耐えない。

学会大会号の投稿規定が成文化されているわけではないが、見開きで掲載できるように、学会用原稿用紙2～6枚というルールで原稿を作成いただいた。中には、これまでの「レクリエーション研究」の投稿規定に添った原著論文もあった。しかし、いくつかの提出原稿に不備があったので連絡をとり改善文を依頼した。改善なき場合は本人の責任としてそのまま掲載することにした。これは査読者の苦慮と温情のたまものといえよう。

(今 井 毅)